



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 6 月 22 日(水) 三種町のなかよし交流会に行ってきました 編

なんとこの度、三種町子育て支援課より避難食作りを教えて下さいとのお声がかかり、ビックリ！能代地域の枠を超えた交流となりました。会場は、三種町八竜農村環境改善センター。親子の参加で人数も多いので、すみれ会2人で伺いました。

三種町には3地域の子育てサークルがあり、今日は合同の「三地区なかよし交流会」ということで、琴丘町のわくわく広場、八竜町のメロンキッズ、山本町のドラえもん広場から24組の親子が参加し、3月に防災企画をした母乳サークル・ミルクハグの皆さんも4組参加。総数60人ほどの交流会となりました。

最初にみんなで体操をし、その後、避難食作りを開始。初めて見るハイゼックスシート(炊飯袋)に興味津々。でも、さすがに主婦は手際が良く、若いだけあって理解力抜群。どんどん避難食ができあがって行きます。特に、ホットケーキミックスは粉をボールで溶いた後、ビニール袋に移し、ケーキ作りのホイップ絞りのように角をハサミでプチッと切り落とし、ハイゼックスシートの中に簡単に流し込みました。それを見ていた一同は拍手喝采！素晴らしい技の完成でした。

たくさんの方が集まれば、それだけ知恵が溢れます。この避難食作りを重ねれば重ねるだけ次々に新しいヒントが生まれ、とても嬉しくなります。きっと、物事は全てのことに同じ仕組みなのではないかと思う昨今です。

避難食の準備が終わり、今度はみんなで被災時の備えを学びました。5月に私が転勤奥様講座でいただいた資料提供をもとに、赤ちゃんの大きさのお人形「はるみちゃん」を使って非常時用おしめを実演して下さいました。これは、赤ちゃんだけではなく、高齢者や女性の生理用品にも応用できる優れものです。



たくさん親子が集まってくださいました。



ご飯支度はなれたものですが、不思議な炊飯袋でどんなご飯ができるのかみなさん興味深々です。



24時間備蓄品セットも作ってみました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

牛乳パックを使った「助けがくるまで頑張るぞ～」24 時間 備蓄品セット。飴やビスケット、砂糖、ポカリスエット、野菜ジュース、シーチキンの缶詰めなどを入れて手の届く所に置くもので、これも実際に作って説明を下さり、みんな真剣に受講していました。

そして、我がすみれ会メンバーで宮城県名取市で被災された相澤さんの体験談。3 か月を過ぎても、なかなかショックから立ち直れずに毎日を送っていらっしゃるようですが、参加した皆さんのために涙ながらに語って下さり、参加したお母さんたちも涙を溜めながら真剣に聞いて下さっていました。突然に訪れる災害……。備えの重要性が身にしみた時間でした。

1 時間が経過し、美味しい避難食のできあがりです。メニューは混ぜご飯、カレーピラフ、お粥にホットケーキです。失敗もなくみんな大成功！その美味しさに大満足！子どもたちもパクパク・モリモリ！「こんなに美味しいと思いませんでした」と喜んでいただき、すみれ会も大満足でした。

この交流会をきっかけに、三種町と能代市の子育てママさんたちが仲よしになり、子育ての悩み解消や災害時の共助として役にたったら、こんな嬉しいことはありません。地域交流を今後も重ねて欲しいものですね。

お世話になった三種町の皆さんに、心より感謝です。ありがとうございました。

文：能登 祐子



実習の人気者・はるみちゃん。



相澤さんの体験談をみなさん熱心に聞き入っていました。



ご飯の出来上がりに注目が集まります。お皿にはサランラップを敷き、災害時の智慧を共有しました。こうした取組の輪が広がると良いですね。